

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 19 年 2 月 1 日 (2007.2.1)

【公開番号】 特開 2001-175608 (P2001-175608A)

【公開日】 平成 13 年 6 月 29 日 (2001.6.29)

【出願番号】 特願 平 11-357463

【国際特許分類】

G 0 6 F 15/02 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/02 (2006.01)

H 0 5 K 5/02 (2006.01)

G 0 6 F 1/16 (2006.01)

H 0 4 Q 7/32 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 15/02 3 1 5 A

G 0 6 F 15/02 3 1 0 A

G 0 6 F 15/02 3 3 5 E

G 0 9 F 9/00 3 0 2

H 0 4 M 1/02 C

H 0 5 K 5/02 J

G 0 6 F 1/00 3 1 2 G

G 0 6 F 1/00 3 1 2 L

H 0 4 B 7/26 V

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 12 月 13 日 (2006.12.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 特許請求の範囲

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 情報入力部と、入力された情報を処理する C P U を有する回路基板と、前記情報を表示する表示部と、前記情報を格納するメモリと、これらを内部に保持する外装体とからなる携帯情報端末装置において、
 前記表示部を保持するとともに前記外装体に取り付ける金属フレームと、
前記表示部と前記金属フレームとの間に設けられる弾性部材と、
 を備えたことを特徴とする携帯情報端末装置。

【請求項 2】 前記表示部は、液晶ディスプレイを有し、
 前記情報入力部は、前記液晶ディスプレイ上に配置される透明タッチパネルを有し、
 前記液晶ディスプレイと前記透明タッチパネルとは、前記弾性部材を介して一体的に前記金属フレームに保持されることを特徴とする請求項 1 記載の携帯情報端末装置。

【請求項 3】 前記弾性部材は、断面がコの字状であり、前記表示部の周囲を包囲するように設けられていることを特徴とする請求項 1 記載の携帯情報端末装置。

【請求項 4】 前記弾性部材は、前記表示部との接触面は平坦面であり、前記金属フレームとの接触面は凹凸面からなることを特徴とする請求項 3 記載の携帯情報端末装置。

